

在宅医療連携研修会 第1回・第2回が開催されました

今回は2回シリーズとして「在宅、施設での摂食嚥下・口腔ケアお困りごとはないですか」について講義と実技研修を実施いたしました。

第1回は、平成30年6月28日(木)に摂食・嚥下障害看護認定看護師による「摂食嚥下・嚥下障害」についての講義、言語聴覚士による「言語聴覚士でも困る！食事介助のこんなとき」についての講義と実技を実施しました。



第2回は、平成30年8月2日(木)に管理栄養士による「誤嚥性肺炎予防のための食事支援」についての講義と実食体験、歯科衛生士による「口腔ケアについて」の講義と実技を実施しました。

参加者より第1回は「嚥下のプロセスがよくわかった」「実技も交えてわかりやすかった。職場の様子と重なって想像しやすかった」などのご意見をいただきました。

第2回は「試食もあってわかりやすかった」「とろみの量など見直しを考えさせられる内容だった」「実際に自分の歯をブラッシングする体験もあってとても参考になった」などのご意見をいただき、盛況に終えることができました。

次回は、以下の内容となります。皆様のご参加をお待ちしております。

- 日時** 平成30年10月25日(木) 18時～19時30分(受付17時30分～)
- 場所** 加古川中央市民病院 光(きらり)ホール
- テーマ** 「高齢者の服薬管理について」
- 第1部：「高齢者への服薬指導・内服方法について」【講師】末永 優子 薬剤師
- 第2部：「糖尿病高齢者への服薬・インスリン管理について」【講師】春山 裕美 糖尿病看護認定看護師

看護実践支援研修



平成30年8月14日(火)、院内の看護師を対象に、【退院支援・退院調整】研修会を開催しました。看護師、MSW合わせて62名の参加がありました。

第1部では、患者支援センター 猿渡副センター長より、「退院支援・退院調整」について地域包括ケアシステム・地域医療構想から急性期病院における退院支援の重要性が述べられました。さらに退院支援プロセスにそった実施内容のポイントについて、講義が行われました。

第2部では、在宅医療支援室の大久保副室長より、「退院支援に関連する診療報酬」について、入院前から退院後までの診療報酬の解説と算定方法の説明が行われました。また、退院前・退院後訪問について実際に訪問した事例を紹介しながらその必要性について講義が行われました。

患者支援センターでは今年度 退院支援について年3回の院内研修を予定しています。患者さんの希望にそった退院支援が図れ、地域と病院がシームレスに連携できるよう、今後も尽力していきたく思います。

患者支援センター地域連携室
 予約専用 TEL.079-451-8651 / FAX.079-451-8653
 その他 TEL.079-451-8652 / FAX.079-451-8654
http://www.kakohp.jp/medical_person/



加古川市民病院機構 理念

いのちの誕生から生涯にわたって地域住民の健康を支え、頼られる病院であり続けます



巻頭言
 急性期病院での看護 ……2
 診療ドクター紹介 ……3
 連携医紹介 ……6-7
 連携室ニュース ……8

特集 4-5

認知症ケアチーム

急性期病院での看護

～認知症患者の看護への挑戦～

加古川市民病院機構 理事 はなおか すみよ
 加古川中央市民病院 副院長
 (兼)看護部長 **花岡澄代**



地域の皆様に支えられながら、開院して2年を無事迎えることができました。心より感謝申し上げます。地域包括ケアシステムにおける急性期病院としての役割を果たすためには、地域の病院、かかりつけ医、訪問看護師や介護分野の人々との連携が何よりも重要と考えております。今後ともご支援の程よろしくお願い申し上げます。

今回の特集は認知症ケアチームの取り組みです。2025年に日本はかつて世界のどの国も経験したことのない超高齢社会を迎えます。またその時に認知症を患う人は700万人を超えるとの推計値が厚生労働省より発表されています。65歳以上の高齢者のうち5人に1人が認知症とすれば、1人の看護師が受け持つ入院患者の中に1～2人の認知症の患者さんが含まれることになります。

当院を受診して頂く65歳以上の患者さんは外来48.2%、入院47.4%となっており、外来では毎年240人の患者さんが認知症と診断され、昨年入院患者の約390人の方が認知症を合併されています。今や認知症に対する医療・看護は必要不可欠であると考えます。しかし、急性期病院で働く看護師は、認知症の体系的な教育を受けている者が少なく、認知症患者への専門的知識やケアの不足が生じています。認知症患者への関わり方など専門的知識と技術をもってケアにあたっていくことが今職員に求められています。

当院には認知症のスペシャリストである「認知症看護認定看護師」が2名在籍しております。精神科医師、精神保健福祉士とともにチーム活動を中心に、認知症患者の医療・看護の実践と体制づくりを推進しています。また、兵庫県より東播磨圏域における「認知症疾患医療センター」の指定を受けており、地域保健医療・介護関係者への研修等を通して、地域における認知症疾患の保健医療水準の向上を図っております。

急性期病院で認知症を見落すことなく、身体機能を維持しながら地域の医療や介護体制に繋いでいき、認知症の方が地域で安心して療養生活を送れるよう、医療・看護に力を注いでいきたいと思っています。

診療ドクター紹介

詳しくはホームページをご覧ください

加古川中央市民病院 泌尿器科

検索



当院の診療担当医師を紹介いたします。紹介頂く際にご参照ください。

泌尿器科

がん集学的治療センター
副センター長(兼)
泌尿器科 主任科部長



専門分野

泌尿器科腫瘍
男性性機能

平素は患者さんのご紹介をいただき、また軽症例・安定例のご加療を担っていただき、誠にありがとうございます。手術支援ロボットダ・ヴィンチXiを始め、腹腔鏡システム、レーザー手術システム、体外碎石波治療などを駆使し、引き続き低侵襲手術を積極的に行って参ります。以下のような患者さんがいらっしゃいましたらご紹介の程よろしくお願い申し上げます。

- ①排尿のトラブル(排尿困難、頻尿、残尿感、尿失禁など)。
- ②尿性状・尿検査の異常(肉眼的血尿、尿潜血陽性、尿混濁、尿中白血球など)。
- ③採血検査異常(PSA高値、腎機能異常)。
- ④側腹部の痛み、排尿困難などの症状を伴った発熱。
- ⑤CT・エコーなどでの異常指摘(腎腫瘍、副腎腫瘍、水腎症、腎・尿管結石、膀胱の膨満、前立腺腫大など)。
- ⑥機能異常(腎機能低下、排尿機能低下、男性機能低下など)。

泌尿器科
科部長

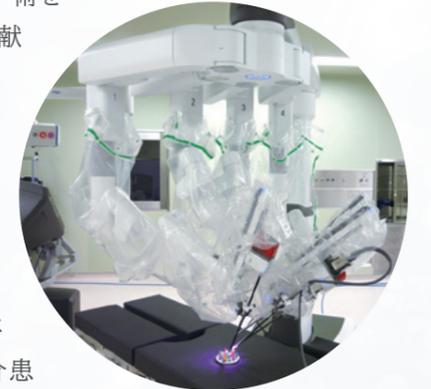
さいかい ゆたか
酒井 豊



専門分野

泌尿器科腫瘍

平素は患者さんのご紹介、フォローアップをいただき誠にありがとうございます。新病院移転後、手術件数は順調に増加してまいりました。また他科の先生方のご協力もあり、少々ハイリスクな症例についても積極的に手術を行っております。今後も地域に貢献できますようできる限りの対応をしておりますのでご紹介をよろしくお願い申し上げます。



泌尿器科
医師

やまの ゆきまさ
山野 志真



専門分野

泌尿器科全般

2017年4月に当院泌尿器科に着任しました山野と申します。平素は患者さんのご紹介並びに紹介患者さんの継続ご加療深謝申し上げます。まだまだ一人前とは言い難い私ですが、患者さんの訴えやお話にしっかりと耳を傾け、わかりやすい説明と丁寧な診療を日々心掛けております。手術加療を要する症例を初め、当科領域の精査加療を要すると思われる患者さんであればいつでもご紹介頂けますと幸いです。今後とも何卒宜しくお願い申し上げます。





認知症ケアチーム



当院は平成24年10月より東播磨圏域における「認知症疾患医療センター」の指定を受けています。

認知症疾患医療センターとして、認知症専門外来である「もの忘れ外来」、認知症の鑑別診断、4ヶ月に1回の勉強会の開催、年に1回の連携会議の開催、かかりつけ医からの紹介・逆紹介システムの構築などしてきました。これが認知症診療における外向きの仕事であるとすれば、認知症ケアチームの仕事は内向きの仕事ということになります。

身体疾患で入院してきた方のうち、日常生活自立度Ⅲ以上の方に介入。認知症のBPSD、せん妄などに対する投薬、環境調整、看護スタッフへのアドバイスなどをしています。

また院内職員に対する研修会も始めました。
毎週火曜日に、チームラウンド、カンファレンスを行っています。
認知症疾患医療センターとして培ってきたことを認知症ケアチームでも活かして、外向きの仕事と内向きの仕事がうまく循環しつつ機能すればと考えています。



精神神経科 主任科部長(兼) 認知症疾患医療センター長
河野 将英

認知症ケアチームとして、私たちは毎週火曜日チーム回診を行っています。また、個々の患者さんにはそれぞれに応じたケアを提供できるように、日々試行錯誤しております。

認知症ケアの例を一つ上げますと、いかに「身体拘束」を使わないか、というの大きなポイントかと思えます。最近では東京都の上川病院など、認知症の専門病院であるにも関わらず「身体拘束を絶対しない」などの理念を掲げる病院が出てきており、これらの高い理想もまた、時代の要請であろうと思っております。

とはいえ実際の現場では身体拘束の使用もやむを得ないのが現状ですし、それを例えれば鎮静系の薬剤で代行してしまうと(俗に薬剤拘束などと呼ばれます)、もっと悲惨な合併症を招きかねません。

認知症の患者さんが不穏になったり怒ったりするのは、彼ら彼女らなりの理由がある事が多いです。どこか分からない場所で突然目覚めて、痛みと孤独に耐えている患者さんたち。その声に、少しでも多く耳を傾けられるような、そんなケアを目指したいと思っております。

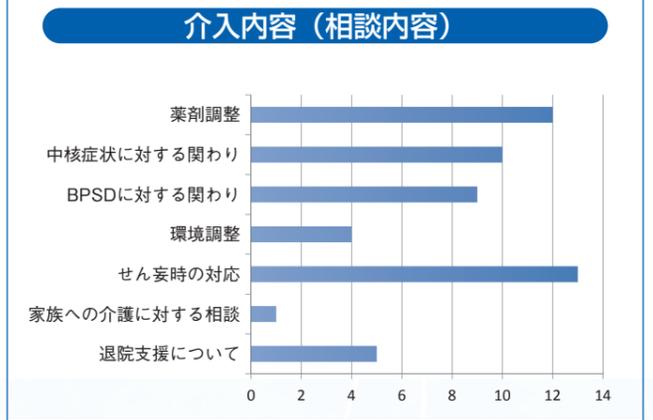
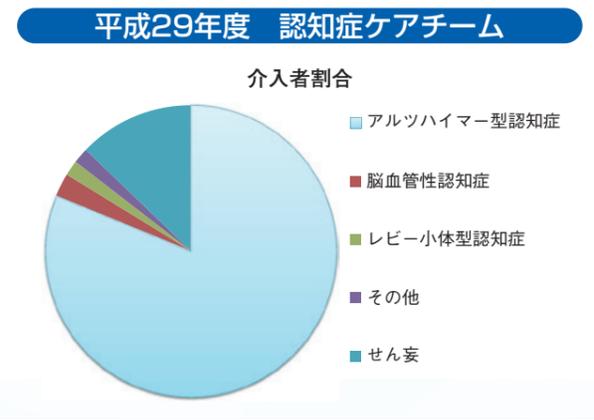


精神神経科 医師
金世賢 (キム セヒョン)



精神神経科 医長
牧野 祥久

精神神経科医師の牧野祥久と申します。認知症ケアチームの一員として毎週火曜日の「認知症ケアチーム回診」「チームカンファレンス」に参加するとともに、認知症をベースとしてせん妄となり精神科コンサルトになった患者さんに対する治療にあたっています。また、チーム活動ではありませんが、新患外来および再診外来でも認知症の患者さんの治療に携わっています。入院患者さんに関わらず、認知症の患者さんまたは認知症が疑われる方についてのご相談を希望される時は、気軽に声をかけてください。



認知症の方は、新しいことを覚えたり判断したりすることに時間がかかる場合があります。中でも病院という環境の変化に伴う不安・体の不調をうまく表現できない苦痛・自分で「できること」と「できないこと」に対する葛藤など、様々な気持ちの変化で行動・心理症状 (BPSD) を招く場合があります。そこで認知症ケアチームの看護師として、中核症状と行動心理症状の観察とその対応や退院支援に向けての関わりをスタッフと共に考えています。また「認知症ケアマニュアル」を作成し、身体的拘束の実施基準や鎮静を目的とした薬剤の適正使用等の内容を盛り込み、各部門に配布し活用していただいています。

これからも急性期病院で治療を受けながら、認知症の方のその人らしさや出来ることを大切に、生活を支える支援を病棟スタッフと協力しながら提供します。

認知症ケアチーム 認知症看護認定看護師 **寺田 美奈子**



認知症ケアチームの中の精神保健福祉士の役割として、医師や認知症看護認定看護師と共にチームラウンド・カンファレンスに参加しています。家族やケアマネ・施設等から得た入院前の情報を認知症ケアチームカンファレンス時に提供しています。また、認知症ケアチームカンファレンスで得た情報を病棟担当MSWに情報提供を行うことで退院支援に貢献しています。

認知症ケアチーム 精神保健福祉士 **宇都宮 ゆか**

連携医紹介

当院と連携いただいている医療機関をご紹介します。

岡本クリニック

診療科：人工透析／内科／胃腸科／外科／整形外科

腎不全、透析医療を中心とした地域密着型医療に携わっております。その時々において、より快適で安全な質の高い透析機器を設置し最新の医療を地域の皆様に提供すべく努力して参りました。

また、各種の検査機器を備え、心疾患、脳血管障害、神経症状などの様々な合併症の予防、早期発見、早期治療に努めています。

精査、手術加療が必要な場合、加古川中央市民病院に紹介させて頂いており、迅速、丁寧な対応に大変感謝致しております。

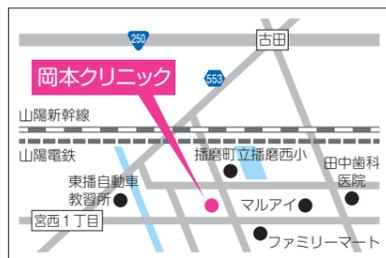
透析患者さん専用病棟があり、夜間休日でも対応でき、長期入院も可能です。

専門性の高い加古川中央市民病院との連携を密にして地域の皆様に信頼して頂ける医療を目指しています。

今後ともご指導のほど、どうぞよろしくお願い致します。



院長：岡本 光人 先生



所在地：加古郡播磨町北本庄5-10-11

駐車場台数：90台

TEL.079-437-2271

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:00~12:30	○	○	○	○	○	○	-
午後 16:00~19:00	○	-	○	-	○	-	-

【透析】月・水・金…9:00~22:00 火・木・土…9:00~15:00

みやけ内科クリニック

診療科：内科／糖尿病内科

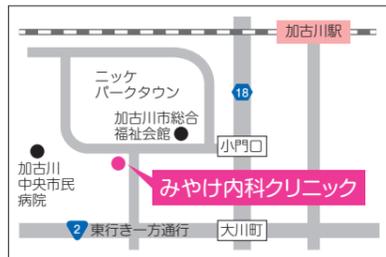
2018年5月7日にニッケパークタウンクリニックモール加古川に開業いたしました、みやけ内科クリニックの三宅一彰と申します。この度、開業と同時に加古川中央市民病院登録医に参加させていただきました。当クリニックから加古川中央市民病院まではとても近く、しっかり連携していくことで、患者さん中心の医療が実践できるのではないかと考えております。総合内科専門医という立場から内科全般のさまざまな病気の診療をおこなうことができ、健康や体調のことを何でも気軽に相談できるクリニックを目指しています。

なかでも、糖尿病専門医として、糖尿病の診療に力を入れています。治療方針を決めるために欠かすことのできない血液検査項目「HbA1c(ヘモグロビンA1c)」については、院内の機器を用いて短時間で結果を出せるようにしています。また、管理栄養士による栄養指導も予約制で受けていただくことが可能です。

この地域のかかりつけ医として、お役にたてるようスタッフ一同、がんばってまいります。



院長：三宅 一彰 先生



所在地：加古川市加古川町寺家町303

ニッケパークタウンクリニックモール加古川2階

駐車場台数：ニッケパークタウンの駐車場をご利用ください。

TEL.079-423-7725

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:00~12:00	○	○	○	-	○	○	-
午後 16:00~19:00	○	○	○	-	○	-	-

こもれび心療クリニック

診療科：心療内科／精神科／デイケア

当院は加古川町栗津で開院して約8年になりますが、一貫して地域医療に貢献するという思いで診療にあたっており、デイケアも併設しています。

JR加古川駅から南へ徒歩6分と利便性も高いです。デイケアとは、当クリニック内で行われている精神科デイケア(小規模)のことです。

通院先が他院である利用者様や加古川市外から通している方もいらっしゃいます。活動内容としては、ゆとりあるくつろげる居場所、他の利用者と一緒に楽しむ場を作り、調理、スポーツ、生活のコツなど生活に必要なことを身につける活動を取り入れています。

また、奉仕活動、バス旅行など屋外での活動や季節のイベントも実施しています。加古川中央市民病院とは全科を連携させて頂いており、今後も病診連携を行っていきます。

私としましては精神科全般を診療し、加古川市民皆様の力になり、当院と同医療法人の東加古川病院とともに加古川中央市民病院と協力連携し、お役に立ていければと思います。



院長：前田 真志 先生

所在地：加古川市加古川町栗津253-10

サンマートビル1F、2F

駐車場台数：6台

TEL.079-456-5560

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:00~12:00	○	○	○	-	○	○	-
午後 14:00~17:00	○	○	○	-	○	○	-

平野こころのクリニック

診療科：心療内科／精神科

はじめまして、こんにちは。院長の平野吉彦と申します。開院して2年がたちましたが、こころの不調をきたされる方が大変多いことをやはり実感いたします。また認知症の方も増えております。当院では“こころのかかりつけ医”として、不眠、不安、うつ、もの忘れなど多岐にわたるこころの不調の診断と治療を行っています。

“疾患”と“病い”、“治療”と“癒し”という言葉があります。それぞれ客観的に示しうるものと主観的な経験によるものと対比できます。精神疾患の治療は、“病いの癒し”を意識することが大切であり、そういった点から、患者様お一人お一人と丁寧なコミュニケーションを重ねていくことをもっとも重視しています。

当院は加古川中央市民病院の間近、ニッケパークタウンのクリニックモール内にごさいます。高次医療が必要な際や検査での紹介など綿密な連携が可能です。今後も連携を深め、より良い医療を提供させていただくべく努力していく所存です。



院長：平野 吉彦 先生



所在地：加古川市加古川町寺家町303

ニッケパークタウンクリニックモール加古川2階

駐車場台数：ニッケパークタウンの駐車場をご利用ください。

TEL.079-456-1077

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:30~13:00	○	○	○	-	○	○	-
午後 15:30~19:00	○	○	-	-	○	-	-